

3月26日 ルカによる福音書 20章 9～19節 今日の説教から

説教題：「重い重い十字架」

今日の聖書箇所では「イエス様のことを見捨てた人間の罪」というものがぶどう園と隅の親石のたとえ話によって語られています。イエスさまは目の前の民衆のことを、特に律法学者たちや祭司長たちユダヤ人のことを「ぶどう園の農夫達」として例えました。イスラエルの民がぶどうの実であれば、彼ら律法学者たちは、そのぶどうが信仰という素晴らしい実りを付けるように世話をするための農夫たちなのです。

しかし農夫たちは、やって来たぶどう園の跡取りを殺してしまいます。跡取りを殺すことで、ぶどう園のすべてを手に入れようと画策したのです。彼らは、自分たちがぶどうの管理を任されているだけの身分であることを忘れ、まるでそれらが自分のものであるかのように振舞いました。

同じく、隅の親石のたとえによって彼らの罪が指摘されます。人々は、イエス様のことを「必要がない石」として捨てることとなります。しかし、神様の計画の中では、イエス様は私たちの信仰の土台であり、命そのものを支える「隅の親石」として用いられることとなります。私たち人間の救いのためにイエス様は十字架へと歩み、人間の罪を償い、復活によってすべての人々を希望へと導きました。その揺るぎない礎として、イエス様は私たちのことをゆるしへと導いてくれているのです。

それを証しするように、イエス様の十字架に関して別の意味を持ってことを示す箇所が旧約聖書に書かれています。これは民数記 21章 6～9節の出来事なのですが、簡単に言えば「神様に歯向かったイスラエルの民に対して、神様は炎の蛇を送った。蛇は人々をかみ、多くの死者が出た。モーセは民のために主に祈った。神様の言葉を受けたモーセは、青銅で一つの蛇を造り、木の棒の先に掲げた。そうすることで、蛇が人をかんでも、その人が青銅の蛇を仰ぐことによって、死ななくなった」と書かれています。神様の命令に従わず、自分の欲望に負けてしまった最初人間が死に定められたように、木の上に掲げられたイエス様を仰ぐことによって、私たちはその定めから癒されて、永遠の命へと導かれています。

ただ、私たちはゆるされているからと言って、何をしてもいいという訳ではありません。私たちは一方的にゆるされていますが、私たちも一方的に神様のゆるしを「断る」ことが出来るのです。それはまさにぶどう園の主人の息子を殺してしまった農夫たちのように、自分から進んで「神様を信じない」「ゆるしなどいらぬ」と、神様の救いの手をはねのけることが出来るだけの自由が私たちには与えられているのです。

私たちは、自由が与えられている身で、何をするのでしょうか。今私たちはこの受難週の中で、「自分がどう生きるのか」が問われています。善く生きるのか、悪く生きるのか、自分のために生きるのか、誰かのために生きるのか。特に「神様のために生きる」のかどうか。私たちは与えられた自由を用いて、どう生きるのかが問われています。それが、私たちに与えられた、「自分の意志で神様を信じる」という生き方なのです。これまでの自分の人生を顧みて、これからの人生を定める、その歩みを一步、共に踏み出しましょう。

今日の説教箇所：ルカによる福音書 20 章 9～19 節

- 9: イエスは民衆にこのたとえを話し始められた。「ある人がぶどう園を作り、これを農夫たちに貸して長い旅に出た。収穫の時になったので、ぶどう園の収穫を納めさせるために、僕を農夫たちのところへ送った。ところが、農夫たちはこの僕を袋だたきにして、何も持たせないで追い返した。そこでまた、ほかの僕を送ったが、農夫たちはこの僕をも袋だたきにし、侮辱して何も持たせないで追い返した。更に三人目の僕を送ったが、これにも傷を負わせてほうり出した。そこで、ぶどう園の主人は言った。『どうしようか。わたしの愛する息子を送ってみよう。この子ならたぶん敬ってくれるだろう。』農夫たちは息子を見て、互いに論じ合った。『これは跡取りだ。殺してしまおう。そうすれば、相続財産は我々のものになる。』そして、息子をぶどう園の外にほうり出して、殺してしまった。さて、ぶどう園の主人は農夫たちをどうするだろうか。戻って来て、この農夫たちを殺し、ぶどう園をほかの人たちに与えるにちがいない。」彼らはこれを聞いて、「そんなことがあってはなりません」と言った。
- 17: イエスは彼らを見つめて言われた。「それでは、こう書いてあるのは、何の意味か。『家を建てる者の捨てた石、／これが隅の親石となった。』その石の上に落ちる者はだれでも打ち砕かれ、その石がだれかの上に落ちれば、その人は押しつぶされてしまう。」そのとき、律法学者たちや祭司長たちは、イエスが自分たちに当てつけてこのたとえを話されると気づいたので、イエスに手を下そうとしたが、民衆を恐れた。